



# 文部科学大臣杯 第80回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2025年8月29日（金）～31日（日） ロード：9月6日（土）～7日（日）

トラック競技：TIPSTAR DOME CHIBA（千葉 JPF ドーム 250m） ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクリススポーツセンター1周 6.0km

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：(公財)日本自転車競技連盟

運営協力：千葉県自転車競技連盟

群馬県自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 千葉市

協賛：公益財団法人 JKA

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

株式会社JPF

協力：株式会社日直商会

ブリヂストンサイクル株式会社

株式会社PIST6

一般財団法人日本サイクリススポーツ振興会

Communique No.7-1

2025年8月21日

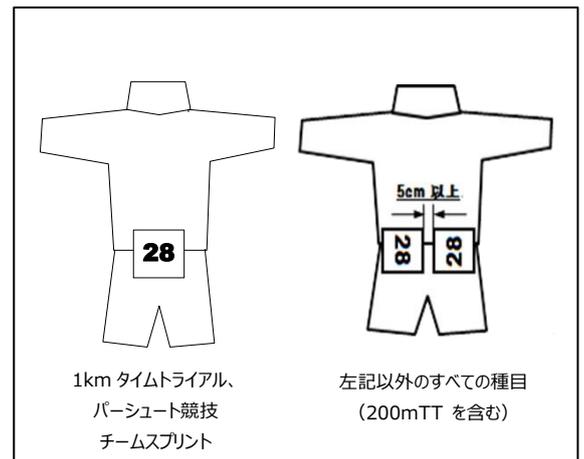
トラックチーフ・コミッセル 森川和之

- 本大会（トラック種目）のPCP、コミッセルパネルは、下記の通りとする。  
森川 和之（PCP）、岩間 光輝、大島 環、古田 雅拓、中村 妃智 の5名とする。
- 競技規則 最新版 UCI 競技規則、最新版（公財）日本自転車競技連盟競技規則および大会特別規則による。
  - 学連独自規定は [https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2025/05/gakuren\\_annai\\_20250504.pdf](https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2025/05/gakuren_annai_20250504.pdf) に掲出されている。P15-18 のタンデムを含むトラック・レース用機材に関する規程を順守する事。
    - タンデム・スプリントに使用する自転車については、上記規程に加え、**後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける**。装着なき場合はレース・練習を 問わず使用を禁ずる。
    - バイクチェックでの確認結果、上記のことについて不具合が判明した場合は、レース後においても失格とする場合があります。あくまで対戦相手と自分自身の安全を確保するためにタンデム自転車の運用基準を順守すること。

### 3. ボディーナンバー（ゼッケン）について

- ボディーナンバーをつける際の安全ピンは各校で用意すること。
- ボディーナンバーの装着及び枚数は一般規則に準じる。（右図参照）乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に、装着すること。
- 男女マディソンでは、専用のボディーナンバーとフレームプレート（スペシャルゼッケン）を使用のこ。フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
- 男女マディソンで使用したボディーナンバーとフレームプレート（スペシャルゼッケン）は返却すること。

その他のゼッケンは回収しません。



1km タイムトライアル、  
パシュート競技  
チームスプリント

左記以外のすべての種目  
(200mTT を含む)

### 4. 競技の進行について

- 時程表どおりに競技を進行させるため、選手は 15 分前までにバイクチェックを済ませ、出場種目のスタート 5 分前までには、スタート地点の次走者控場所で待機すること。特にケイリン抽選には遅れないこと。他選手と同時にスタート準備が出来ない選手はレースから除外もありえる。

### 5. 表彰式

- チームユニフォーム着用のこと。公式セレモニーはサングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止。

### 6. ホルダー

下記に関しては、各チームでホルダーを用意すること。

- ◆男女オムニウム（内側スタート） ◆男女マディソン（内側スタート） ◆男女スプリント
- ◆タンデム・スプリント ◆ケイリン

また、4km チームパシュート、男女チームスプリントにおいては第 1 走者のみスタートブロックで保持し、それ以外の選手には各チームでホルダーを用意すること。このホルダーについてもチーム役員登録証（トラック）に登録していて ID カードを所持するものに限る。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

<https://www.jicf.info/>（公式のレース結果はホームページへ）





# 文部科学大臣杯 第80回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2025年8月29日（金）～31日（日） ロード：9月6日（土）～7日（日）

トラック競技：TIPSTAR DOME CHIBA（千葉 JPF ドーム 250m） ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクリングスポーツセンター1周 6.0km

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：(公財)日本自転車競技連盟

運営協力：千葉県自転車競技連盟

群馬県自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 千葉市

協賛：公益財団法人 JKA

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

株式会社JPF

協力：株式会社日直商会

ブリヂストンサイクル株式会社

株式会社PIST6

一般財団法人日本サイクリングスポーツ振興会

## Communique No.7-2

### 7. タンDEM・SPRINT

ホルダーは二人まで認める。

予選はフライング・スタートによる1周を計時する。助走と計時周回を含む走行距離は**3.5周**とする。

予選スタートでライダーをプッシュする際、ソロスプリント同様に**セーフティゾーン内においてパーシュートラインを超えない範囲**でのプッシュを認める。

本戦はホームストレッチの中央線から10m手前に並び、**ホルダーはパーシュートラインを超えない範囲**でプッシュを認める。ホルダーはパーシュートラインを超えてはならず、足が踏み出した場合失格とする。**3周回**の距離で行う。

### 8. 女子マディソン

2チーム出場する場合、Aは登録ユニフォーム、Bはその他ハッキリと見分けられるユニフォームを準備のこと。

### 9. ケイリン

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取ることとし、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。競技者たちはペーサーがトラックを離れる時まで、ペーサーや選手の直後について間隔を空けてはならない。これを行わなかった場合直ちにレースを中止し違反した競技者は失格とする。

### 10. ハイトカテゴリー

カテゴリー2以上の選手についてはUCIリスト申請することを基本とする。UCIリスト登録のない180cm以上の選手は“カテゴリー1”として扱う。

### 11. 警告と失格

同一種目における2回目の警告（同一大会における3回目の警告）、非スポーツ的行動による失格、3回目の降格（警告との累計含む）の時失格となる。

### 12. コース出入場

マススタート競技では、選手はホーム側からコースに入り、バック側よりコースから出るものとする。すべての競技において、フィニッシュ後2.5周以内にすみやかにコースより出ること。競技役員の指示に従うこと。

コースへのアクセスランプは常にクリアに保たれていなければならない。競走中すべてのコースアクセス用スロープには、いかなるチームの資材や関係者は立ち入ってはならない。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

<https://www.jicf.info/>（公式のレース結果はホームページへ）

